



福山市立大成館中学校
大中だより

2017(平成29)年
5月16日
No. 4
校長 小寺和宏

大中体育大会 成功裡に終える！！

「一生懸命はブラボー！！～咲き誇れ大中魂～」

体育大会当日は雨が気になりましたが、生徒の皆さんのやる気とエネルギーが雨雲を吹き飛ばしました。生徒一人ひとりの大中魂が咲き誇る体育大会となり、自分たちの力で体育大会を成功させるんだという気迫が伝わってきました。

早朝から雨でぬかるんだグラウンド整備に協力してくれた多くの生徒(別の役割等があり協力したくても出来なかった生徒もいました)。色別の応援の真剣さ・気迫。控えテントでの姿勢。競技は勿論のこと、一挙手一投足に一生懸命さが伝わる感動的な体育大会でした。さすが大中学生です。

この体育大会を通じて、皆さんはたくさんのことを学んだと思います。

各団とも優勝にこだわり力を出し切りました。勝つことにこだわることはとても大切なことです。しかし、勝つことにこだわる先に新たなものが見えてきたはずです。それは、1つのことを成し遂げる時、皆の心が一つになること、すなわち絆が大切だということです。

絆の大切さは、勝つことにこだわったからこそ見えてくるものです。

勝つことにこだわり過ぎて、絆の大切さを見失った人もいるかもしれませんが、絆の大切さを見失った人は、今日からの学校生活で、クラスの絆、学年の絆、学校の絆、部活の絆を大切にしてください。

また、多くの3年生、各団リーダー、生徒会執行部、音楽部の皆さん等は、人目につかないところで黙々とこの体育大会のために準備をしてくださいました。

まわりの人が見ていようがまいが、どんな状況にあらうと黙々と一生懸命に取り組むことができること、これが本物の一生懸命です。

体育大会等の行事だけ「一生懸命」というのは本物の一生懸命ではありません。日頃の「授業態度」や「あいさつ」、「掃除の態度」、「宿題の提出」、「部活の練習」等を一生懸命にやることで様々な行事が本物になります。

日常の生活で積み上げたものが様々な行事で咲き誇るということです。

逆に言うと、行事だけでしか咲き誇れない大中魂は見せかけということです。

今日からの学校生活、家庭生活で、まわりの人が見ていようがまいが、どんな状況にあらうと黙々と一生懸命に取り組むことができる本物の一生懸命を全員が目指してください。

1学期始業式の式辞で「振り返り」という話をしました。

この体育大会で力を出し切れなかったという人もいると思います。失敗したという人もいます。失敗や挫折は人生にはつきものです。大切なことは失敗や挫折から立ち上がるための「振り返り」です。

特に、3年生の皆さんは、一つ一つの行事、一日一日が中学校生活最後となります。

いい意味での緊張感を持ち、この体育大会の成功を自信に、大中の伝統をしっかり後輩に引き継いでください。それが最高学年の使命です。「一生懸命はブラボー！！」



【選手宣誓、各団長の熱き思いが伝わってきます】



【見事な各団の応援合戦、大中魂を感じます】